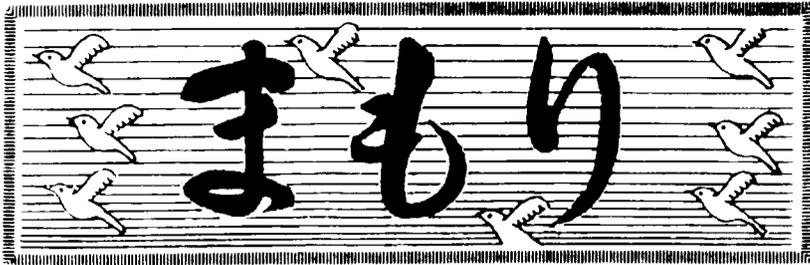


国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。

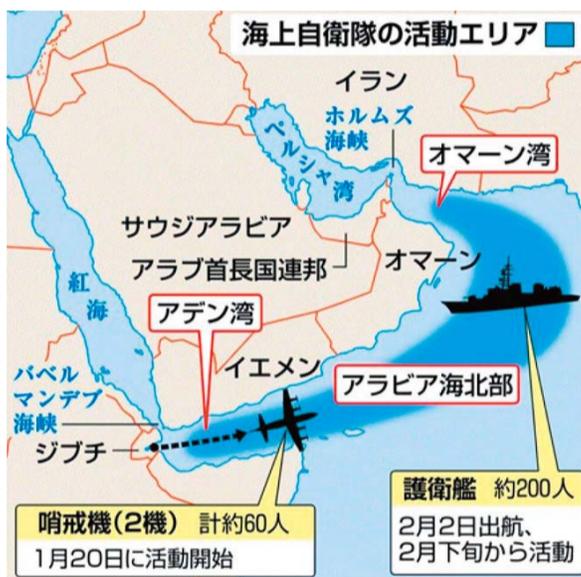


発行所 大阪防衛協会 (〒541-0041) 大阪市中央区北浜4丁目2番13号 淀屋橋今西ビル4F TEL 06-6202-8284 発行人 井上礼之 編集責任者 蛸原康治 印刷所 (株)DNPメディアサポート

護衛艦「たかなみ」中東派遣



2月2日護衛艦「たかなみ」の出征



中東海域でのシーレーン(海上交通路)の安全を確保するため海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」が2月2日、海上自衛隊横須賀基地から出航した。約3週間かけて現地に到着し、すでに本年1月11日、那覇空港を出発した海上自衛隊のP3C哨戒機と合流して日本関係船舶が中東海域を安全に航行するための情報収集活動を実施している。大阪防衛協会会員一同、日本国民として派遣部隊の武運を祈る。

海上自衛隊中東派遣の意義について

特別寄稿

金沢工業大学虎ノ門大学院 教授・元海将 伊藤 俊幸



伊藤 俊幸氏

今回の護衛艦中東派遣は防衛省設置法の「調査・研究」に基づいて行われるため、警戒監視や情報収集はできるが、日本船籍船舶に対する直接護衛はできない。もし同船舶が襲撃される等、不測の事態が起きた場合は、防衛大臣から「海上警備行動」が下令され、拡声器(LRAD)による警告や「武力の行使(破壊と殺傷)に至らない」「武器の使用(犯罪者の行動停止)で不審船を排除する。LRADは音響兵器ともいわれ、その指向性と大出力で聴覚に後遺症が残るほどの威力があり、実際に海賊を撃退してきた。その一方で、日本関係船舶(便

宜置籍船※)の保護は「船籍を登録している国」が行うという「旗国主義」が海洋法条約に掲げられているため、海上警備行動が下令されても「武器の使用」ができない。沿岸国や船籍を登録している国への通報や人道的配慮からLRADによる警告までが可能となる。このように状況によって対処行動が変わるため、あらゆる事態を想定した訓練を積み、能力を高めた上で自衛官は派遣される。米国とイランが「やられたらやり返す」という姿勢でいる限り、中東の不安定さは今後とも続くことが予想される。それでも日本関係船舶は持続性あるエネルギー確保のため

め、丸腰のまま同海域を航行しなければならぬ。この民間商戦の安全確保こそが国家の役割である。危険だからこそ自衛隊派遣の意義は大きい。そして「商戦から頼りにされている」と感じられるだけで、自衛官の士気は上がる。「何かあればすぐに駆けつけられる」と日本関係船舶に「安心感を与える」ため近くに「プレゼンス(存在)」する。これが派遣の本質的意義なのだ。ただ課題があるのも事実である。例えばイラン革命防衛隊が発砲してきた場合、これは軍艦からの攻撃になるため本来「武器の使用」ではなく、「武力の行使」が必要となる。いわ

ゆる「マイナー自衛権」の行使であるが、これまで「憲法上できない」とされてきた。海賊などの犯罪組織ではなく、軍艦や公船という国家の機関が「平時において不法行為をした場合、日本は対応できない」と解釈されているのだ。本来、憲法改正にはこういった本質的な議論が必要なのである。年明け早々から起きた米国とイランによる一連の武力行使に世界が騒然とする中、ぶれることなく中東派遣を決断した日本政府に敬意を表する。 ※便宜置籍船(べんぎせきせん) 外国の個人または法人の所有する船舶の船舶登録を認められた国(パナマ、リベリア等)に登録された船舶のことをいう。実質的な所有主の国籍国の船旗ではなく、便宜的に船籍を置いた他国の旗を付けて運航されている。(全国防衛協会連合会常任理事 元海上自衛隊員地方総監)

- ▽特別会員(4社) 平川晋一 (株)ヒラカワ (株)大洋工作所 辻克之 (株)WIND CREATOR 横山英樹(岡二郎) ☆昭和電工アルミ販売(株) 山本寛(倉智英吉)
▽賛助会員(5名) 清水貴之(大坪文雄) 葛野喜嗣(大坪文雄) 横野俊彦(蛸原康治) 西美智子(殿村時加子) (以上普通会員)
▽普通会員(10名) 蓮岡元一、蓮岡理恵(以上佐野貞美) 阪本敏次(今泉里司) 松尾陽一郎(倉智英吉) 高田和弘(梅下真司) 山下直人(大部順子) 佐野寛(木村益偉) 卯田尚弓(秋田和孝) 寺田将之、志賀宏起(以上IT)

新入会員

令和2年1月〜3月 () は推薦者名

令和2年度会員総会 決定 ※1

令和2年6月9日(火) 新阪急ホテル2階

- 第一部 議案審議 一六〇〇〜一六三〇
第二部 総会行事 一六四〇〜一七二〇
第三部 記念講演 一七三〇〜一八五〇 演題 「日本人らしく凛と生きる武士道の知恵(仮題) 講師 梅谷忠洋氏(作曲家・潜在能力研究者)
第四部 懇親会 一九〇〇〜二〇三〇
○出席お申し込みは同封はがきかFAXでお願いします。(FAX 06-6202-1828 大阪防衛協会事務局へ)

主な記事

- 令和元年度主要事業報告 () はページ
○2020年安全保障情勢概観
○特別寄稿 不肖宮嶋茂樹が行く「復活の日」
○連載 エッセイ「夕暮れの街」その86
○活躍する女性自衛官群像
○令和2年度富士総合火力演習
○女心の防衛論「教育混乱」憂国論
○図書紹介・行事メモ・事務局だより等
(4)(4)(4)(4)(3)(3)(2)(2)

桶 滴

危機管理の要諦

今、世界中で新型コロナウイルス感染症拡大が深刻化している。そもそも昨年12月中国の武漢で発生し、1月上旬中旬は中国(武漢)からの観光客は何の疑いもなく日本へ来て、1月半ば頃から感染者が相次いだ。1月23日武漢封鎖が行われ、その後、中国湖北省の在留邦人ら政府のチャーター機で828名が帰国したが既に手遅れとなった。また2月3日、英クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号が横浜港に寄港し、乗客乗員約700名が感染し逐次帰国並びに帰宅したが、13日、国内で初めての死者が出て感染を止めることはできなかった。日本政府は2月28日多数の観客が集まるスポーツや文化事業の中止や延期を要請するとともに、小中学校高校、特別支援学校等は臨時休校決め、3月に入って9日から中国・韓国・イランの一部地域の入国を拒否、3月11日WHO(世界保健機関)が「パンデミック」(世界的大流行)を表明し、さらに13日新型インフルエンザ等対策特別措置法改正案が成立し、「緊急事態宣言」が可能となった。今では世界的規模で不要不急の渡航の自粛に及んでいるが、夫々の国家の対応や医療体制、国民の協力経済及び安全保障等国の弱点を晒した感がある。しかし今は人間や国同士が争っている場合ではない。全地球五超人類が丸と丸となつて見えない敵と戦わねばならない。危機管理の要諦は最悪の事態を想定して初動へ全力投入、優先順位の決定、権限・指揮系統の一本化、情報集約・発信の一元化等原則は言われているが、究極は個人の自己防衛に尽きる。先ず、あらゆる危機に対して守り抜くという意思、危機に耐えられる体力、最悪に備える準備、正しい情報を得て、最後に「君子危うきに近寄らず」を肝に銘じたい。(令和2年4月1日KE)

2020年安全保障情勢概観

(一)安全保障環境の特徴

現在の安全保障環境の特徴として、第一に国家間の相互依存関係が「層拡大・深化」する一方、中国等のさらなる国力の伸長等によるパワーバランスの変化が加速化・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性が増している。

こうした中、自らに有利な国際秩序・地域秩序の形成や影響力の拡大を目指した政治経済軍事にわたる国家間の競争が顕在化している。

第二にテクノロジーの進歩が安全保障のあり方を根本的に変えようとしている。情報通信などの分野における急速な技術革新に伴う軍事技術の進展を背景に戦闘様相は「陸・海・空」のみならず、「宇宙・サイバー・電磁波」空間への攻撃、テロなどにより日常の社会を混乱と恐怖に陥れる形が全世界を覆いつつある。

また各国はゲーム・チェンジャーとなりうる最先端技術を活用した兵器の開発に注力するとともに人工知能(AI)を搭載した自律型無人兵器システムの研究にも取り組んでいる。

第三に「一國一地域」で生じた混乱や安全保障上の問題が、直ちに国際社会全体に影響を及ぼす不安定要因として拡大するリスクを高めており、一國のみでの対応が困難な安全保障上の課題が顕在化している。

世界各所で生起する紛争の要因は複雑多岐にわたり、その脅威対象は、国家のみではなく非国家集団を標榜する組織に及んでいる。こうした中、我が国の周辺には質量に優れた軍事力を有する国が集中し、軍事力のさらなる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著となっている。

さらに気候変動と予期しなかった新型コロナウイルス拡散も相まって世界は従来にも増して不透明かつ不安定化し、世界の平和と安定に対する脅威は今後更に深刻なものになる可能性がある。

(二)周辺国の情勢について

○北朝鮮は、近年前例のない頻度で弾道ミサイル実験や六回の核実験を行い、同時発射能力や奇襲的攻撃能力等を強化して「核兵器の小型化、

弾頭化」を実現しているとみられる。

一昨年は朝鮮半島の完全な非核化に向けた意思を表明し、核実験場の爆破を公開する等の動きは見せたものの、すべての核兵器及び弾道ミサイルの「完全で検証可能な不可逆的非核化」(CVID)を求めたが、昨年2月ベトナムハノイで行われた米朝首脳再会談は決裂以降、再び十数回の飛翔体発射を繰り返していたが、10月行われた実験は潜水艦発射ミサイル(SLBM)「北極星」系列と推定される。さらに本年3月飛翔体を数発日本海に向けて発射している。

引き続き今後の米・朝の変化と北朝鮮と関係の深い中・韓の動向と推移を見守る必要がある。

○中国は、新型コロナウイルス拡散のため、3月5日から全国人民代表(全人代)行われなかったが、2019年、国防費は約2兆円(日本の約4倍)を計上し、(実際は1.5倍

の30兆円と言われている)今世紀半ばまでに「世界一流の軍隊を建設すること」を目標に核・ミサイル戦力や海上航空戦力を中心に軍事力を強化すると同時に、宇宙・サイバー・電磁波という新たな領域の能力強化にも取り組んでいる。

特に1978年「海軍発展戦略」という中国海軍増強のロードマップを作らせ、2000年までを中国沿岸海域の完全防備態勢を整備、2010年まで第一列島線(九州・奄美・沖縄・台湾・比国・ボルネオ島を結ぶ)の制海権確保、2020年第二列島線(東京・伊豆・小笠原・グアム・サイパン・バプアニューギニアを結ぶ)の制海権確保と航空母艦建造により接近阻止・領域拒否(A2AD)能力を強化している。

また昨10月の軍事パレードでDF-41(射程5000km以上)ICBM DF-17(射程2000km)極超音速滑空体ミサイル)を登場させ、超大国を目指して着々と能力の向上を図っている。

わが国周辺海域における最近の主な中国軍の活動(イメージ)(令和元年版 防衛白書より転載)



また、あくまでも台湾を「一國二制度」体制におくことを目標に戦力を展開し、沖縄本島と宮古島間の宮古海峡を通過する事例が増え、東シナ海を中心とする中国軍機の活動はより一層活発化することが予想される。

昨年4〜12月対緊急発進は742回で前年の同時期より16回減少しているが、対中国機は47回増え、523回、対ロシア機は216回で54回減った。

さらに我が国固有の領土である尖閣諸島周辺においては公船による断続的な領海侵入や海軍艦艇による恒常的な活動を行っている。(1月98回2月84回延べ数)

○ロシアはプーチン大統領の強いリーダーシップのもと、「強いロシアの再現」をスローガンとして核戦力を中心に軍事力の近代化とともに軍事態勢の強化をはかっている。ウクライナ情勢等をめぐり、欧米と激しく対立している。国力の回復とともに、軍事強国の建設を推し進めている。

その結果、軍の活動・訓練回数も増加し、日本周辺での艦艇、航空機による周回活動も活発になっている。また北極圏、欧州、米国周辺、中東に加え「北方領土を含む極東においても軍事活動を活発化させる傾向にあり、その動向を注視していく必要がある。

令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日〜令和2年3月31日)

- 平成31年4月
 - 1日「まもり」第206号 発刊
 - 4日 空自109期一般幹部候補生入校式 (奈良)
 - 19日 平成31年度理事会 (大阪)
 - 27日 中府有識者懇談会 (伊丹)
 - 27日 大津駐屯地創立記念日
 - 令和元年5月
 - 12日 第3師団創立記念日 (伊丹市千僧)
 - 31日 中府音楽隊定期演奏会 (西宮)
 - 6月
 - 1日 空自奈良基地祭 (奈良)
 - 1日 阪神基地隊開隊記念行事 (神戸)
 - 4日 令和元年度会員総会
- また、あくまでも台湾を「一國二制度」体制におくことを目標に戦力を展開し、沖縄本島と宮古島間の宮古海峡を通過する事例が増え、東シナ海を中心とする中国軍機の活動はより一層活発化することが予想される。
- 昨年4〜12月対緊急発進は742回で前年の同時期より16回減少しているが、対中国機は47回増え、523回、対ロシア機は216回で54回減った。
- さらに我が国固有の領土である尖閣諸島周辺においては公船による断続的な領海侵入や海軍艦艇による恒常的な活動を行っている。(1月98回2月84回延べ数)
- ロシアはプーチン大統領の強いリーダーシップのもと、「強いロシアの再現」をスローガンとして核戦力を中心に軍事力の近代化とともに軍事態勢の強化をはかっている。ウクライナ情勢等をめぐり、欧米と激しく対立している。国力の回復とともに、軍事強国の建設を推し進めている。
- その結果、軍の活動・訓練回数も増加し、日本周辺での艦艇、航空機による周回活動も活発になっている。また北極圏、欧州、米国周辺、中東に加え「北方領土を含む極東においても軍事活動を活発化させる傾向にあり、その動向を注視していく必要がある。
- 我が国との北方四島の領土問題では、首脳会談が行われたとはいえ、ロシアが一度手中に収めた領土を手放すとは思えず、返還は夢のまた夢になりつつある。
- 韓国は、2015年末、慰安婦問題の「最終的かつ不可逆的」に解決することで日韓が合意した後、2017年5月10日、文在寅大統領が就任したが、2018年10月韓国大法院は徴用工訴訟で日本企業に損害賠償を求め、また2018年12月韓国艦が海自機にレーダー照射、2019年1月韓国議長が「慰安婦問題の解決には天皇陛下の謝罪が必要」等々反日活動が活発で情報戦の最大脅威になっている。
- また米朝との関係で米韓合同演習が中止並びに縮小されつつあり、特に38度線のDMZ(非武装地帯)の警備が非常に緩くなり、北の独裁国家と南の民主主義国家が連邦制をとり、在韓米軍が朝鮮半島を撤退するような事態となり、日本の防衛ラインが対馬海峡まで下りてくるというようなことになれば根本的に国家戦略を見直さなければならぬ。
- いずれにしても最悪の事態を想定して日米韓の軍事協力や有事における邦人保護について準備しておく必要がある。
- 10月
 - 1日「まもり」第208号 発刊
 - 6日 中府方面隊創立59年記念日 (伊丹)
 - 16日 全国防衛協会連合会青年部研修 (山口地区)
 - 21日 八尾駐屯地創立記念行事
 - 29日 空自第109部候補生防大課程卒業式 (奈良)
 - 11月
 - 2日 第3回OBKゴルフ大会
 - 9日 第3師団追悼式 (千僧)
 - 30日 全国防衛協会女性部研修会
 - 12月
 - 5日 女性部による阪神病院患者見舞いと女性自衛官激励・慰問 (伊丹・千僧・川西)
 - 8日 阪神基地隊年末行事 (神戸)
 - 13日 「関西安全保障セミナー」協賛 (大阪)
 - 27日「まもり」第209号 発刊
- 米国では、トランプ政権が誕生して3年経過し、一昨年発表した国家安全保障戦略の方針「力による平和」「米本土と米国民米国の生活様式の防衛」「米国の繁栄推進」「米国の影響力拡大」の4本柱とし、本年の2020会計年度予算教書で国防予算を2.8%増で過去最大規模の7380億ドル(約80兆8千億円)日本の約16倍)計上した。特に宇宙空間の軍事利用を積極的に進める中国、ロシアに対抗するため、今年統合軍として発足した「宇宙軍」を陸海空軍、海兵隊、沿岸警備隊と並ぶ第6番目の独立軍に昇格させた。戦略的競争が重要な課題としてさらに軍事力再建のため、技術革新等による「すべての領域における軍事的優位の維持」「核抑止の強化」「ミサイル防衛能力の高度化」等に取り組んでいる。さらに日韓に対し、米軍駐留経費の大幅な負担増額を求められる。
- 欧州においては、ウクライナ問題に加え、域内の経済あるいは民族上の問題が露呈する一方、中東・アフリカからの難民問題が財政負担と社会不安をもたらしている。さらに2月1日英国のEU離脱が代表されるように特にフランス、オランダ、ドイツ等ナショナリズムを再燃させるなどEUの結束と域内国の内政に深刻な影響を与えている。さらに北大西洋条約を始め日本を含む同盟国に対し、共有する安全保障上の利益を追求する機会が増えるものと思われる。
- 中東においては2019年6月中東ホルムズ海峡近くのオマーン沖で日本などのタンカー2隻が攻撃を受け、米国偵察無人機がイランに撃墜された。さらに昨12月イラク北部にある米軍基地にロケット弾が撃ち込まれ、バグダッドの米大使館をテロ隊が襲撃、それに対して20年1月米軍が、イランのスレイマニ司令官を殺害、その報復としてイランがイラクにある米軍基地を弾道ミサイルで攻撃し米イラン間の軍事的な対立はひとまず沈静化した。イエメンではイランを後ろ盾とする反政府武装勢力フーシがサウジが軍事支援する暫定政府と約5年間にわたる代理戦争が続いている。米トランプ政権が提唱した国際協力による海上警備行動は7か国の参加によって実施されているが、海上自衛隊護衛艦「たかなみ」は2月26日から独自で情報収集活動を開始した。
- (三)我が国の安全保障について

以上周辺国の安全保障環境を概観したが、このように大きく変化する世界情勢にあつて、我が国では、2013年12月に「安全保障戦略」が、

約40年前に人類の愚かさを予言したかのような小松左京原作の「復活の日」が草刈正雄主演で映画化されたのをご存知か。そのストーリーと今の現実世界はそっくりや。

あらずじは1988年冬東ドイツの陸軍細菌研究所から新種のウイルスM188を奪ったスパイは小型機でアルプスを越えようとするが墜落、春になると原因不明の新型インフルエンザが世界中に流行して世界はパニック。経済、治安も秩序も崩壊。ワクチンの開発も間に合わず、米大統領もソ連共産党書記長も感染し、人類及び動物も滅亡する。

生き残ったのは南極大陸にいた各国観測隊員8百余名と長期潜航中だった英軍とソ連の原潜だけ。氷の大地に残されたものだけで人類の種を絶えたものだけ。ワシ今回の新型コロナウイ

特別寄稿 不肖宮嶋が行く



写真集「鳩と桜防衛大学の日々」等 写真家 宮嶋茂樹

「復活の日」

やさんためには女性隊員の数が圧倒的に少ない。もはや正常な恋愛も結婚も無理の共同生活を余儀なくされる。実をいうとワシこの映画を南極の

昭和基地内の娯楽室で隊員とともに観たが当時は現実感なく、ホームシックの方が強かったもんなや。ワシ今回の新型コロナウイ

動を己が盲信する学説を主張する舞台にしたり、いや医者や専門家ですらない科学ドリットがTVで長々と無責任に日本政府の対応を批判した

極のパーマー基地ですら「人類の種の保存」という崇高な義務を忘れ、エゴと陰謀が渦巻くのである。なんで大新聞の編集委員、大テレビ局の

「閣議決定2015年4月には「日米防衛協力のための指針」が2プラス2で承認され、同年9月所謂「平和安全法制」が可決成立し、2018年12月防衛計画の大綱が発表された。

連載エッセイ

夕暮れの街 その86



M&Uスクール学長 梅谷 忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)

「渠は歩き出した。銃が重い、背囊が重い、脚が重い、アルミニウム製の金腕が腰の剣に當ってカタカタと鳴る。其音が興奮した神経を夥しく刺激するので、幾度かそれを直してみたが、何うしても鳴る、カタカタと鳴る。もう厭になって了った。

心臓マヒで力尽きて死んでしまします。現在では脚気の原因は、ビタミンB1不足で起こることは周知ですが、明治初期の頃は、まだビタミン自体が発見されておらず、その原因が「伝染病」だとする説が主流でした。従って、その免疫力の低下は栄養不足と考え(脚気栄養障害説)、陸軍では白米信仰が根強く残り、海軍のように玄米や麦を主食にしなかったため、圧倒的に脚気患者が多く、何とこの病気の為に兵卒の五人に一人が戦えない状態でした。しかし、ある小部隊の軍医は自分が貧農出身であることから、白米は贅沢、と思ひ、兵卒に玄米食をさせていた結果、その部隊からは一人の脚気患者も出ませんでした。

これは、明治の文豪・田山花袋が日露戦争の三年後に発表した小説「一兵卒」の冒頭と末尾です。主人公は脚気で入院しましたが、愛国心から軍医の制止を振り切って、原隊復帰しようと後を追うシーンです。しかし、脚気による

この白米信仰を根付かせたのは、なんと軍医総監(中将相当)にまで上り詰めた森岡外でした。素晴らしい小説家である一面、当

時発見され始めたばかりのビタミンの存在を日露戦争が終わるまで無視し続けた結果、陸軍で「脚気ビタミン欠乏説」が認められたのは、二十年後の大正十三年のことでした。ある病(感)染症)が世界中に流行することを Pandemic と言います。そして現在、2019新型コロナウイルスがWHO(世界保健機関)によって Pandemic と認定されました。世間では、コンサートやスポーツなどが大勢集まることへの自粛に始まり、安倍首相によって学校閉鎖が発令され、それらに伴う世情不安から株価が急落し、経済危機が叫ばれています。そして、もし自衛隊にコロナウイルスが蔓延したらどうなるでしょうか。どんなに素晴らしいAI兵器を所持し、優秀な兵卒に訓練を施そうとも有名無実化は免れません。

旧日本軍も、脚気のみならず、天然痘、インフルエンザなどのウイルス感染症、ペスト、コレラ、結核、発疹チフス、梅毒などの細菌感染症、原虫感染症であるマラリアなどの風土病、また水の違いや汚水による下痢腹痛など、

様々な原因から戦力低下が起ることを危惧し、常に神経を尖らせていました。疫病は軍隊にとつて戦死戦傷と並ぶ大敵です。このような事情から、疫病や水質汚染による戦力低下を防ぐことを目的に、軍は「防疫給水部」を設置し、第一次世界大戦時にヨーロッパ諸国で開発された毒ガス等の化学兵器や細菌兵器による怪我や疫病から水や人間を守る役目を任せました。しかし、その為の研究が高じて石井四郎軍医中将率いる関東軍防疫給水部本部(通称「七三部隊」森村誠一著「悪魔の飽食」に詳しい)のような悪名高い部署に発展したケースもあります。

現在猛威を振るっている「2019新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)」は、アメリカの学者の見解では、地球人口の70%が罹患する恐れがあると警鐘を鳴らしています。これはもう、病原体と人間の世界大戦だと私は思います。しかし、日本人は七五年もの長い間、実際の戦争を体験していないので、臨戦態勢の取り方を一般人はほとんど教えられておりません。戦争は、相手が敵国であれウイ

「憲法上の正当性付与」は抑止力を高めるために不可欠であり、これを支える国民の意識がより一層重要である。東日本大震災を契機に、防衛省・自衛隊及び日米共同に対する信頼が大いに高まり、自衛隊を容認する意識の大幅な向上が見られる一方で、国民自ら家族や国を守る意識、世界の安定のために軍力が果たす役割への理解については未だ十分とはいえない。不安定化する国際情勢にあって、我が国が果たすべき役割は更に大きくなるであろう。本年冒頭から世界は新型コロナウイルス感染症に見舞われ、世界経済、安全保障等への打撃は計り知れない状況にある。(文章は、令和元年版「防衛白書」第1章第1節「現在の安全保障環境の特徴」第2節「わが国周辺国などの軍事動向」から抜粋・要約するとともに各種新聞・IT等からデータを付加して作成した。 文責 蜷原康治

活躍する女性自衛官



松島美沙 2空尉 F-15 戦闘機パイロット(新田原)



大谷美穂 2海佐 イージス艦「みょうこう」艦長(舞鶴)



竹之内理咲 3海尉 潜水艦教育訓練隊に配置(呉)



橋場麗奈 3陸曹 第1空挺団に配置(習志野)

女心の防衛論

教育混乱憂国論



大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜

皆様がこの拙文をお読みくださる頃、私は大阪府立大学を定年退官している。「タイミング良く辞められて羨ましい」と、若手教授たち。確かに私は、次の2つの理由によって、ラッキーだ。

① 府立大学と市立大学との統合作業で、教授たちは疲れ切っている。
昨年夏、大学当局は「ストレスチェック」を実施。結果の思わしくない教職員に産業医面接を受けさせた。なぜか私も人事課から言われ、担当医に会うべく興味津々で保健室へ。通り一遍の挨拶の後は約1時間、私のことだから、若い医師を笑わせ続けた。「ここは、本来、笑い声が起こる場所ではないですよ」と、この医

師は意外な展開に動揺しながらも嬉しそう。そもそも精神科や心療内科ではなく、消化器が専門なのに医局から派遣されたようで、深刻なケースは怖いとか。「統合計画初期から一部の理系教授が多忙と経費削減とでストレスがマックスになり、私の対応が悪いと自殺されるのではと心配です」と、責任の重圧に可哀想。かつて石原都知事の命令で都立大学が首都大学東京になるにあたり、自殺した理系教授がいたと聞く。府大では、幸い自殺の話は耳にしていないが、逃げるように他大学へ転職したり、早期退職する優秀な教員は少なくない。なんと府大教員が、これほど大変な思いをしても、給与は市大より安く、この雇用体系は統合後も「永遠」とか。まあ大阪府より大阪

市のほうの財政が豊かなので、仕方あるまい。もし「都構想」で「市」が解体されたら、予算も「府」に一元化され変わるかもしれないが、ともかく私は、統合騒ぎに巻き込まれず、府大を去れたのは幸運だった。② 2つめの理由は、ご存知、文科省絡みの共通入試の混乱。あんなもの、現場を知っている我々は、当初から「無理！」「非常識！」「??？」と異口同音に批判していた。それを、今頃、やっと気が付きました？と呆れるしかない。

そもそも入試なんて、昔のように、各大学が自分たちにとって望ましい者を選ぶために実施する、あるいは寄付金額で決めれば良いのだ。(半世紀近く前、某有名私立大学医学部が、合否ラインの受験者に求めた寄付金は二千万円だった。)悪いが、東大理三合格者と、いわゆる低偏差値大学にしか入れない者とは、小学校時代の学力にも、既にかんがりの差がある。なのに

わざわざ大学受験前に共通テストを受けさせる必要があるのか？日本の教育の根本問題は、受験勉強優先で、真の「学力」を軽視していることだ。学力の基礎は、小学校の国語教育にある。そこで読解力と表現力を習得できなければ、情報収集能力や思考力も伸びず、適切な長文が書けるわけもない。そんな大事な時期に、いい加減な英語教育導入など、ナンセンスしかるべき学力がつけられなかった場合、「落第」させるべきだ。幸い少子化で、教室数に余裕はあるだろう。本当に「卒業」が学力を「証明」するならば、文科省の共通テストなど不要のはず。教育は国家百年の計のはずなのに、こんな低レベルの混乱を招くようでは、「防衛」は大丈夫なのだろうか？元教育現場にいた者として、防衛の現場における皆様のご苦勞を思う次第である。

令和2年度 富士総合火力演習の案内

・日時 5月24日(日) 1000~1200 (23日(土) 予行日)
・場所 静岡県御殿場市東富士演習場
・参加希望者は4月24日までに(住所、氏名、年齢、性別、電話番号、希望日(第1,第2)と枚数(最大3名)を明記の上、返信用封筒(宛名記入、84円切手貼付)を添えて当協会事務局までお送りください。
※応募者多数の場合は抽選します。
(住所) 〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル 701号 大阪防衛協会 TEL&Fax 06-6202-8284

会員制リゾートホテル

のご案内
当協会は平成29年から株式会社大倉様とザグランリゾート法人会員入会契約をしており、関東から関西に至る日本の代表的な景勝地に点在するリゾートホテルをすでに400余名の皆様にご利用いただいております。新たに会員希望の方は氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、住所、勤務先を明記の上、下記へお申し込みください。
大阪防衛協会事務局 (FAX&TEL06-6202-8284)
又はザグランリゾート事務局 (FAX06-6355-6112 TEL06-6353-1955)
ザグランリゾート検索

行事メモ

- ☆空自一般幹部候補生(防大・一般・部内)等入校式 4月3日(金) (奈良)
- 令和2年度理事會 4月14日(火) (大阪)
- 信太山駐屯地創立記念行事 4月19日(日) (大阪)
- 中方・有識者懇談會 4月25日(土) (伊丹)
- 第3師団・千僧駐屯地創立記念日 5月17日(日) (伊丹)
- 令和2年度青年部總會 5月18日(月) (大阪)
- 富士総合火力演習 ※2 5月24日(日) (東富士演習場)
- 青野原駐屯地創立記念行事 5月31日(日) (小野)
- 大久保駐屯地創立記念行事 5月31日(日) (宇治)
- 全国防衛協会連合會總會 6月3日(水) (東京)
- 中方音楽隊定期演奏會 6月5日(金) (西宮)
- 令和2年度會員總會 ※1 6月9日(火) (大阪)
- ☆航空自衛隊奈良基地祭 6月13日(土) (奈良)
- ▽阪神基地隊開隊記念行事 6月初旬 未定 (神戸)
- 陸▽海☆空 ●協会関連

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方二帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。

協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行・航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行っています。

さらに最近では世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。

自衛隊は今後ますます厳しい環境の中で世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。

「国を守る気概」示そう！

大阪防衛協会事務局
電話・FAX 06-6202-8284

ご協力をお願い

環境と条件の中で本来の防衛任務の他、PKO活動や災害派遣行動等取り組まねばなりません。当協会はさらに事業を拡大継続するとともに、「自分の国は自分で守る」という気概を示す手段が当協会の存在と考えます。會員の皆様には会の趣旨をご理解の上、さらに會員増勢にご協力をお願い申し上げます。

会長 井上礼之 (ダイキン工業(株)取締役会長)

年会費
・特別會員(法人) 一口三万円
・賛助會員 一口一万円
・普通會員 一口三千元
・家族會員 一口二千元

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。
〒541-0041
大阪市中央区北浜四-1-13
淀屋橋今西ビル4F
大阪防衛協会事務局

図書紹介

安全保障のバイブル

「和をもって貴しとなす」

(593頁) ついに完成!

(本書の構成)
第1章 今なぜ安全保障なのか
第2章 今なぜ国なのか
第3章 今なぜ戦争なのか
第4章 今なぜ平和、危機、抑止なのか
第5章 今なぜ情勢判断なのか
第6章 今なぜ日本文化なのか

著者 和貴の会 伊佐次達ほか
内外出版(株) 定価 4,500円
(会員割引あり)
☆お問合せ・お申し込みは事務局まで

事務局だより

○国内外共に激動の時代に新型コロナウイルス拡散が加わってますます混沌の時代を迎えておりますが會員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？

○当協会は今年で創立56年目を迎えました。6月9日(火)會員總會を予定しています。

○自衛隊並びに防衛協会関連行事につきましては時節柄、中止又は変更が予想されます。その都度ご確認下さい。

○大阪防衛協会事務局は左記に移転しました。
〒541-0041
大阪市中央区北浜3-5-19
淀屋橋ホワイトビル701号
☎06-6202-8284